

農事組合法人 荷稻米・米クラブ収穫祭

荷稻集落を中心に活動を行っている農事組合法人荷稻米・米クラブが、昨年12月24日に収穫祭として餅投げを行いました。

農事組合法人荷稻米・米クラブは、進行する農家の高齢化、人口減少、米価の下落など、農業をとりまく環境が悪化する中、集落の農地の維持や活性化などを目的に、平成19年に集落営農組織を設立し、平成24年に幡多地域で初めて法人化を行った組織です。

主な活動は、高齢化により負担が大きくなった農作業を受託したり、組織所有機械の利用を行っており、周辺地域にとっても必要不可欠な存在となっています。

収穫祭は、日ごろから組織の活動を理解し後押しをしてもらっている周辺住民の方などへの感謝の気持ちを込めて、2年に1回、組織が収穫したもち米を農協で加工し、配布しています。代表理事の下元雄彦^{かつひこ}さんは、「組織としての経営が良くなれば1年に1回行いたい」と話しており、参加した方からは笑いが起きていました。

町としても集落内の農地を守る

だけでなく、収穫祭といったイベントを行うことで、地元住民が笑顔になれる活動が行えるように、集落営農の取組を周知・推進していきたいと思っています。



佐賀北部活性化推進協議会が 新商品を発表

佐賀地域9集落の住民有志で平成16年に結成された「黒潮町佐賀北部活性化推進協議会」の食部会が、昨年12月21日に新商品の発表を行いました。

今回の新商品開発は、高知県が実施している「6次産業化普及活動推進事業」を活用したもので、地域資源の新たな価値を見出し、地産地消・地産外商を進めていく取組です。協議会は、平成27年6月よりこの事業を利用し、専門アドバイザーによる助言を受けながら商品開発に向けて何度も試作品の作成に励んできました。

当日発表した「鯖ねえ」は、黒潮町産のしめじ、鯖、おから、ゆず酢、味噌、天日塩などを原材料とし、ごはんのお友として食べられる瓶詰めタイプの新商品(650円)。今後は、佐賀温泉で販売される予定です。お問合せは、佐賀北部活性化推進協議会 ☎55-7272まで。



「やさしい心をひろげよう」 「人権の花」運動

毎年、町内の小学校を中心に「人権の花」運動が行われています。この運動は、花を育てることにより、「いのちの大切さ」や「思いやりの心」を育むことを目的としています。花の苗などの植え付けには、人権擁護委員なども参加し、人権の大切さなどについても伝えました。

伊与喜小学校では、育てた花を児童と交流のある特別養護老人ホームかしま荘へ贈呈したり、伊与喜駅のホームに飾り、多くの人に楽しんでもらう活動を行いました。子どもたちが植えた花は、みんなで協力して水やりやお世話をしながら大事に育て、3月の卒業式会場などにも飾る予定です。

